

小学校第4学年 道徳科 学習構想案

日 時 令和7年11月14日(金) 第5校時

場 所 4年3組教室

指導者 教諭 有馬 美穂

1 学習構想

主題名 教材名	もっとよくなりたい A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 「マルガレーテ・シュタイフ・ティディベアを作った人 - 」(出典:小学道徳 生きる力4 日本文教出版 P68~P73)	
主題について	本主題は、小学校学習指導要領道徳編の「自分の目標をもって、勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させること」に関する内容項目である。また、第3学年及び第4学年の指導内容A- (5)「自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと」をもとに設定したものである。	
本主題の中心的なテーマ	目標を実現するには、どんな考え方方が大切だろう。	
本主題で働くさせる見方・考え方	自分でやろうと決めた目標に向かって粘り強くやり抜くことの大切さについて、多面的・多角的に考え、自分との関わりで考えながらこれからの生き方に生かそうとすること。	

各教科等や体験活動等との関連

時期	各教科・特別活動等	道徳科	体験活動・日常活動等	児童の心の動き
9月	○学級活動 「夢は見るものではなく、かなえるもの」 元日本代表のサッカーチーム選手の考え方をもとに努力について考える。	〈目標に向かって〉 A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 教材名:「きっとできる」 主人公の気持ちの変化を考えることを通して、目標を立て、あきらめずに粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	○帰りの会 学級目標に照らして友達のよいところを見つけよう。	目標を立てて、あきらめずに粘り強くやり抜きたいな。 
10月	○学校行事 「運動会」 キャリア・パスポートを使って運動会に対する目標を立て、それに向かって努力する。	〈長所をのばす〉 A- (4) 個性の伸長 教材名:「つくればいいでしょ」 主人公の気持ちを考えることを通して、長所は努力次第で作ったり伸ばしたりできることに気付き自分を積極的に伸ばしていこうという意欲を育てる。	○読み聞かせ 「きっとできる」の話を聞いて、心に残ったところを伝え合おう。	自分では知らなかつたよさがあったので、そこを伸ばしていこう。 
11月	○学級活動 「目標に向かってがんばり続けるひけつ」 フレンチシェフの動画をもとに、目標をやり抜く秘訣を学ぶ。	〈もっとよくなりたい〉 A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 教材名:「マルガレーテ・シュタイフ・ティディベアを作った人 - 」 主人公の生き方に触れ、困難なことに挑戦し、工夫していることについて話し合うことを通して、目標に向かって努力するときに、粘り強くやり抜くための判断力を育てる。 【本時】	○当番活動 ○係活動 ○清掃活動 一人一人目標をもって、学校や学級のために働く。	目標に向かって努力するときに粘り強くやり抜くための考え方方が分かったよ。 
	○社会科 「谷に囲まれた大地に水を引く」 地域の発展に尽くした先人が様々な苦心や努力により、当時の生活の向上に貢献したことを理解する。	〈くじけずにやりぬく〉 A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 教材名:「布田保之助の心」 困難に負けずに仕事をやり抜くことの大切さについて考え、人の役に立とうとする態度を育てる。	○社会科見学 通潤橋の資料館及び放水見学をしよう。	最後まであきらめない気持ちってとても大事だ。自分もがんばってみよう。 

目指す児童の姿(期待される姿)

自分でやろうと決めた目標に向かって粘り強くやり抜こうとする児童

2 主題との関連及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所（内容、指導事項等）

目標を立て、それを実現することは、自分自身を高め、よりよく生きるということである。しかし、目標を実現するためには、ただ目標を立て、ひたすら頑張ればよいというものではない。困難や失敗があったときに、乗り越え、より高い目標に向かって進んでいかなくてはならない。目標を実現するためには、粘り強く取り組む強い意志が必要となる。その意志の芽生えには、喜びという感情や周りからの支えなどさまざまなものが支えとなる。また、自分に適した目標を設定し、自己実現を図ることで前向きな生き方が自覚される。こうしたことを理解し、目標に向かってやり抜くための判断力を育てたい。

児童の実態

■本教材の内容項目に関する意識の状況（令和7年7月16日実施） 21人／24人

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない
自分には夢がある。	14	6	1	0
（自分の夢） 漫画家、ピアノの先生、保育士、学校の先生、ダンサー、医師、サッカー選手 等				
実際に目標を立ててがんばっていることがある。	13	5	3	0
（がんばっていること） お手伝い、掃除、鉛筆の持ち方、食べ物の好き嫌い、挨拶、勉強 等				
目標を立てて努力しようとして、途中であきらめたことがある。	1	11	2	7
（あきらめた理由） 面倒くさい、時間がない、叱られない 等				

■道徳の学習に関する意識の状況（令和7年7月16日実施） 21人／24人

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない
自分の考えを積極的に発言しながら、考えを深めていますか。	12	5	2	2
道徳の学習を自分との関わりで考えていますか。	11	9	0	1
友達の考えのよさに気付いて自分の考えに取り入れていますか。	13	5	2	1

■考察

【内容項目に関して】

「自分には夢がある」に対して肯定的な回答が20人あることから、将来の夢はもっていることが分かる。一方で、夢に対する具体的な目標が立っていないかったり、目標を立てても途中であきらめたことがあったりする児童が多い。そこで、本主題の授業を通して、「最後までやり抜くこと」の大切さが理解できても「面倒だ」「疲れた」とやり切れないときもあることをあらためて考える機会にし、「自分にはできない」とあきらめるのではなく、工夫しやり抜くことが大切であることに気付かせたい。また、目標を達成する原動力の一つに「人の役に立ちたい」「人のために何かできることは自分の喜びになる」という今よりよりよくなりたいという願いがあることに気付き、粘り強くやり抜くために必要な考え方を広げたり深めたりしたい。

【道徳の学習に関して】

全体的には、道徳の学習に積極的に取り組んだり、話し合うことの価値等に気付いたりしているが、道徳の学習を自らの生活と重ね合わせていない児童や友達の意見を取り入れていない児童も数人見られる。そこで、友達の考えのよさに触れたり、自分の考えを広げたり深めたりする話し合いの時間を設定する。

題材・教材の価値

本教材は、自分でやろうと決めた目標に向かって強い意志をもって、粘り強くやり抜くためにはどんな考え方が必要かを考える教材である。具体的には、主人公マルガーレテが病気によって体が不自由になる。しかし、友達に勉強を教えて感謝されたり、ミシンの練習を工夫しながら続けたりしながら、世界中の人に愛されるteddybearを作ったという内容である。

児童が勉強や運動だけでなく、様々なことに興味・関心を広げ、活動的になるこの時期に、自分でやろうと決めた目標に向かって強い意志をもって、粘り強くやり抜くための判断力を育てたい。

3 指導上の留意点及び研究テーマとの関連

- 9月、11月に行う「学級活動」や10月に行う「運動会」と関連して、道徳科で養った内面的資質と学級活動や行事の中で行われる道徳的な実践を絡めて価値付けることで、児童の考えを深める。本時では、それまでに行った学級活動や行事の体験を生かしながら「目標に向かって努力するときにあきらめないための考え方方が分かる」ことを目指している。（視点1-イ：目指す児童の姿を意識し、教科等との関連を図った単元デザインの工夫）
- 主人公の素敵な生き方が視覚化できる板書や自分の考えを整理するノートをもとに、自他の考えのよさに気付くことができるようにするために、話し合いの時間を十分に確保する。本時では、ペアやフリートーク、学級全体の話し合いを入れながら考えの広がりや深まりを自覚させる。「質問」や「気付き」「納得」「よさ」が出ない場合には、「きらりタイム」を設定したり、「お返しあいいうえお」等を使ったりしながら話し合い活動を行う。（視点2-イ：自他の考えのよさに気付かせる話し合いの工夫）
- 道徳科と関連した学びの跡を教室に掲示する。また、本単元では、運動会や学級活動の児童の様子を掲示して価値付ける。さらに、帰りの会で行っている「心タイム」で、担任が道徳科の授業で学んだことと児童の学校生活の様子を重ねながら話したり、児童がスピーチしたりする場を設定し、道徳科の学びを日常につなげていく。（視点3-ア：学びの日常化を図るための工夫）

※「人権が尊重される授業づくりの視点」

自己存在感	終末では、一人一人が友達から、自分の「目標に向かって努力していること」について、具体的に評価してもらう場を設定し、自己有用感をもたせる。
共感的関係	展開では、児童同士で意見をつないでいく。そこで「気付き」や「納得」等の視点をもとに、他者の発言のよさを認め、自分の考えを深めようという態度を育てる。
自己選択・決定の場	展開では、自分のこととして経験を振り返りながら考えさせるために、カラーカードを使って自分の考えを決定、選択させる。

4 本時の学習

(1) ねらい

主人公の生き方に触れ、困難なことに挑戦し、工夫していることについて話し合うことを通して、目標に向かって努力するときに、粘り強くやり抜くための判断力を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	3	1 事前の意識調査の結果から、「目標の実現」についての問題意識をもち、本時のめあてを立てる。	<p>◎中心的な発問 ○発問、指示 ・予想される児童の反応</p> <p>○事前アンケートの結果からみなさんの「目標の実現」に対する考え方を見ましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標はあるけど・・・。 ・目標を達成するには、どうすればいいの？ <p>めあて：目標を実現するには、どんな考え方方が大切だろう。</p>
展開	7	2 教材「マルガレーテ・シユタイフ」を聞いて考え、話し合う。	<p>○「主人公の生き方で素敵だと思うこと」に気を付けながら聞きましょう。</p>
	5	(1)主人公の生き方で、素敵だと思うところ	<p>○主人公の生き方で素敵だと思うところはどこですか。そう考える理由は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に勉強を教えたところ人の役に立ちたいと考えているから。 ・ミシンの練習をしたところできないことに挑戦しているから。 ・友達を助けて、自分の会社で働くように言ったところ困っている人をそのままにしないから。 ・すべての人が働きやすく、子どもたちに最高のものを届けようとしているところ努力し続けているから。
	7	(2)主人公が「できないこと」に挑戦し、工夫しているところ	<p>◎あなただったらどうしますか。その理由は何ですか。</p> <p>【あきらめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無理だから ・大変だから <p>【あきらめない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってみなければわからないから。 ・努力することが大事だから。 ・工夫すればできるから。 <p>○めあてに対する自分なりの考え方を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきらめない気持ちを持つ。 ・やろうという強い気持ちが大切。 ・自分にできることを見つけて行うこと ・自分を信じて努力すること
	10	3 「目標を実現するのに大切な考え方」について、自分の言葉で納得解を得る。	<p>◇範読の前に聞く視点を指示し、本時のねらいに迫ることができるようになる。</p> <p>◇学校司書が範読をし、授業者は場面絵を貼ることで、子供の思考を助ける。</p> <p>◇場面絵に番号をつけ、どの場面が素敵なのかを指を使って明確にさせることで、意図的指名を行う。</p> <p>◇ペアの際には、児童相互のやり取りが生まれるように必要に応じて「おたずねあいうえお」を提示する。</p> <p>◇「自分ならできない」という発言があった場合は共感した言葉をかける。</p> <p>◇自分のこととして考えるために、挑戦し、工夫している主人公に対して自分だったらどうするのかを問う。</p> <p>◇カラーカードを使って、自分の考えを明確にさせ、その後、フリートークを行わせる。</p> <p>◇学級全体の話合いでは、ハンドサインを使いながら、考えを練り上げるようにする。その際、自分の経験を振り返るように声をかける。</p> <p>◇児童一人一人がしっかりとと考え、本時のめあてに対する納得解を得られるようにノートで自分の考えを整理した上で、話合いをさせる。</p> <p>◇「質問」や「気付き」「納得」「よさ」が出ないときには、「きらりタイム」を設定し、自分の考えを深めたり、友達の多様な考えに触れさせたりする。</p>

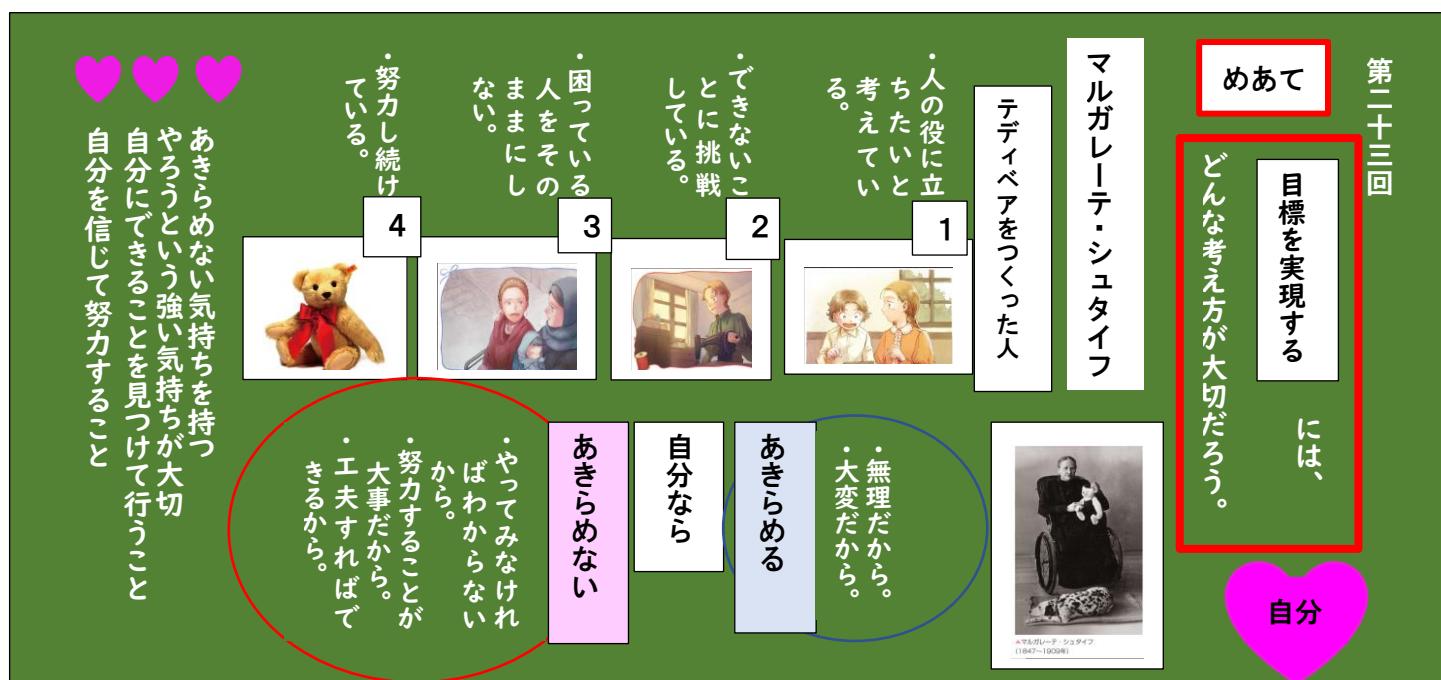
終 末	<p>13 4 自分自身の生活を振り返る。</p> <p>(1) 自分自身が、あきらめないで目標を実現しようとしていることについて振り返る。</p> <p>(2) 自他のよさに気付くためにフリートークを行う。</p> <p>(3) 教師の説話を聞く。</p>	<p>○みなさんは、自分があきらめないで目標を実現しようとしていることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は・・・。 ・○○さんは・・・。 <p>○最後に横山先生のお話を聞いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横山先生のように目標に向かってがんばる考え方方が分かったよ。 	<p>◇自分があきらめないで目標を実現しようとしていることについて振り返り、自己の生き方につなげられるようにする。</p> <p>◇フリートークを入れ、自分が気付いていない「自分のよさ」、自分が気付いている「友達のよさ」について対話をさせる。</p> <p>◇教師の説話を聞き、今後の生活への意欲を高める。</p>
--------	---	---	---

(3) 本時の評価 (ワークシート・発表)

【視点1】 「主人公の生き方に触れ、困難なことに挑戦し、工夫していること」について話し合うを通して、友達の考えのよさに気付き、自分の考えを広げ、深めながら、粘り強く努力を続けるために必要な考え方何か、多面的・多角的に考えている。

【視点2】自分でやろう決めた目標に向かって粘り強くやり抜くことの大切さについて、自分との関わりで考えている。

【板書計画】



【ICT 活用計画】

- ・導入で、プロジェクターを使って、事前アンケートの結果を提示する。
 - ・終末の説話で、プロジェクターを使って、写真を提示する。